科 目 名	 数学 I	単位数	2 単位	学科。	学年	全科	→ Aコース	2 年	
使用教科書		1 12 %		副教	材等		udy-Upノート 数学		
学 習 目 標	数学的な見方・考えたことを目指す。 (1)数と式及び二次関化したり、数学的に傾(2)数と式を多面的に現してその特徴を表、(3)数学のよさを認識する態度、問題解決の基礎を養う。	数について 解釈したり みたり目的 式、グラ し数学を記	の基本的な概念や、数学的に表現・処 のに応じて適切に変けたのに応じて適切に変ける のを相互に関連付け に関しようとする態	原理・注 連理した 形した・ けて考察 度、粘・	去則を何 りする りする力 する力 り強く者	本系的に 技能を身 力、関数 を養う。 考え数学	理解するとともにないまではない。 関係に着目し、 動論拠に基づいる。	こ、事象を数学 する。 事象を的確に表 ご判断しようと	
学習評価	○ 次の三つの観点に基づき、学習内容のまとまり(定期考査までを学習のひとまとり)ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。 ② 知識・技能 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理してする技能を身に付けるようにする。 ② 思考・判断・表現 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象に関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いてする。								
	③ 主体的に学習に取り 組む態度 数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的 論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深め たり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。								
			評価方法、観点 学習状況観察 課題提出 ペーパーテスト		②OOO	(i)	学習態度や状況を 副教材、プリント 小テスト、定期 ^ま	、等	
覆 修 上	Descard 数学の学習はピラ) 重視するとこ		
	内容が十分に理解のような主旨で編 2年生では、1年析」、「集合と命み、授業内容の復	できてい 成されて 生で学習 題」を学	ないと、次の授業 いますので、毎日 した内容の続きる 習します。学習の	美の内 ² 日の予 としま り 定着	容は理 習・復 す。「	解しに 習を必 図形と	くくなります。 ずする必要がる 計量」、「デ	教科書も ² あります。 -タの分	

学期	月	学習内容	時数	学 習 の ね ら い 学習活動(評価方法)
1	4 5 6	第4章 図形と計量 第1節 三角比	13	・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。 ・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を理解する方法を理解すること。 ・図形の項西洋館の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式としてみちびくこと。 学習状況観察課題提出 ノート提出 小テスト 学習状況観察課題提出 ノート提出 小テスト
2	9	第2節 正弦定理・余弦定理	13	・正弦定理や余弦定理について三 角形の関係の決定条件や三平方の 定理と関連付けて理解し、三角形 の辺の長さや核の大きさなどを求 めること。 ・図形の構成要素間の関係に着目 し、日常の事象や社会の事象など を数学的に捉え、問題を解決した り、解決の過程を振り返って事象 の数学的な特徴や他の事象との関 係を考察したりすること。
	11	第5章 データの分析	13	・分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解すること。 ・具体的な事象において仮設検定の考え方を理解すること。 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察すること。 ・目的の応じて復習複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やブラフ、手法などを選択して分析グラフ、データの傾向を把握し事象の特徴を表現すること。
3	1 2 3	第2章 集合と命題	20	・集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 ・集合の考え方を用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。 と。 学習状況観察課題提出 ノート提出 小テスト 学年末テスト